

事務事業評価シート

計画対象年度	令和 2年度								
事務事業名	地域活性化DMO推進事業（政策）						事業類型	一般事務	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	まち・ひと・しごと創生法 地域再生法
			07	01	02	14	政策経費		
総合計画体系	7. みんなでつくる連携と協働のまちづくり						総合計画対象	対象	
	(3) 産学官連携の推進						市民協働	行政の関与	
	1 産学官連携						担当課係等	観光課	
②サイクリングプログラムを核とした地域活性化DMO推進事業						観光DMO推進担当			
事業期間	継続								

現状把握の部 (D0)

【目的】 観光DMOの観点から、地域の様々な事業者が連携し地域の資源を活用した事業を構築・展開することで、交流人口の継続的な拡大、新たな産業化の実現・雇用の創出へつなげ「稼ぐ地域づくり」を目指す。	【関連事業】 農山漁村活性化推進事業	
【期待される効果】 交流人口の継続的な拡大、新たな産業化の実現・雇用の創出といった「稼ぐ地域づくり」に資する	【対象者】 市民	
【全体概要】 具体的には、交流センターを拠点に事業を展開する「株式会社かすみがうら未来づくりカンパニー」を中心に、歩崎地域や近隣の観光資源を効果的に組合せ、磨き上げ、魅力をアピールし、来訪客が年間を通じて域内に訪れ、賑わいと経済活性化がもたらされる地域づくりを行うものである。	【特記事項】 まち・ひと・しごと創生事業関連での平成30年度から新規事業化	
【令和元年度 事業内容】	【令和 2年度 事業内容】	【令和 3年度 事業内容】
<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩崎地域観光振興アクションプランの実施 ・ 情報発信ツール作成(デジタルサイン、HP) ・ 体験プログラムの実施など ・ montbellとの連携 (フレンドエリア登録) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩崎地域観光振興アクションプランの実施 ・ 体験プログラムの実施など ・ montbellとの連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩崎地域観光振興アクションプランの実施 ・ 情報発信ツール作成 ・ 湖上体験プログラムの実施など ・ montbellとの連携 ・ 歩崎棧橋を活用し湖上のアクティビティを強化するため、レジャー備品等を保管する多目的倉庫を設置

■ 事業費

		R01年度	R02年度	R03年度
財源	国庫支出金	1,893	2,200	0
	県支出金	0	0	0
	一般財源・その他	2,592	982	1,056
歳入計(千円)		4,485	3,182	1,056
歳出	節(番号+名称)	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
	08 旅費	0	45	118
	10 需用費	0	13	14
	12 委託料	3,805	2,200	0
	13 使用料及び賃借料	680	0	0
	18 負担金、補助及び交付金	0	924	924
歳出計(千円)(A)		4,485	3,182	1,056
(参考)		当初予算額	当初予算額	伸び率(%)
		4,967	3,320	-66.8
職員人工数		0.60	0.60	-68.1
職員人件費(B)		4,652	4,670	4,670
総事業費(A)+(B)		9,137	7,852	5,726

■指標

種類	指標名	単位		R01年度	R02年度	R03年度
活動指標	歩崎地域観光振興アクションプラン事業	事業数	目標	1.00	2.00	1.00
	（㈱かすみがうら未来づくりカンパニーと連携し、アクションプランに基づく、運営面も考慮した具体的な新体験プログラムの実施）		実績	1.00	4.00	0.00
	地域推奨品の販路拡大	品目	目標	10.00	15.00	20.00
	ECサイトで取り扱う商品数		実績	42.00	68.00	0.00
成果指標	観光消費額の増加	千円	目標	1,000.00	1,000.00	1,000.00
	新たな体験プログラムの実施により発生する観光消費額の増加分		実績	120.00	200.00	0.00
	売上額の増加	千円	目標	56,437.00	60,723.00	59,406.00
	（㈱かすみがうら未来づくりカンパニー売上額）		実績	55,697.00	75,102.00	0.00

評価の部（SEE）

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 観光DMO事業は、官民連携によってかすみがうら未来づくりカンパニーを設立させ取り組んでいる重要施策であるため、密接に結びついている。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 本市が出資して設立した会社を中心として、行政だけでは補えない役割を担うとともに貴重な成果を創出していることから妥当である。
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 古民家江口屋や歩崎棧橋を活用することで、歩崎地域への誘客をさらに促す事業展開が可能となる。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 交流人口の増加や地域商品の消費拡大など確実に実績を積み重ねている。地域創生の柱として事業化したものであり、休止については地域の機運向上や連携強化に影響ができることが懸念される。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 多くの事業が派生し、連携する事業者も多岐にわたる。このため、事業目的や成果に合わせて細分化及び再統合することは可能である。
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。（仕様や工法の適正化、市民の協力など）	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 事業の成果は事業費や人件費に比例するため、現段階での削減は事業に支障がでることが懸念されることから、一定の成果が得られてから検討することとする。
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 交流人口の増加を目的にしていることから、不特定多数の方々を受益者と捉えているため、公平・公正である。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	歩崎地域振興アクションプランにおける、具体的な短期・中期・長期の目標達成のため、更にかすみがうら未来づくりカンパニーとの連携を強化して確実に実施していく。また、サイクリングのほか、棧橋活用による湖上アクティビティなど、客層の掘り起こしや新たな事業を計画していく。
	1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：貝塚裕行 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 改革・改善の具体的な内容（改革案・実行計画） 地域の事業者との連携を強化するとともに、体験型プログラムを組み合わせた展開により、朝市（HAYAOKI歩崎）を充実させるなど、交流人口の増加による稼げる地域づくりのモデルとなる取り組みを進める。	
	2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：大久保定夫 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 株式会社かすみがうら未来づくりカンパニーの指導・監督を行い、新たに整備された古民家や歩崎棧橋などを活用した新たなプログラムの開発を進め、交流人口の増加に取り組むことが重要である。	

事務事業評価シート

計画対象年度	令和 2年度							
事務事業名	シティプロモーション事業（政策）						事業類型	その他
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令 特になし
			07	01	02	15	政策経費	
総合計画体系	7. みんなでつくる連携と協働のまちづくり						総合計画対象	対象
	(4) 広報・広聴活動の充実						市民協働	市民の関与
	1 広報・広聴						担当課係等	観光課
① 広報活動の推進								自転車・企画推進担当
事業期間	継続							

現状把握の部 (D0)

【目的】 かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略のうち「新しい人の流れをつくる」の実現に向け、市の知名度向上や特産品などのPR及び販路拡大などによる交流人口の増加を図る。	【関連事業】 しごと創生事業(政策)
【期待される効果】 地域資源のPRを推進することにより交流人口が増加するとともに地域産業の活性化を図る。	【対象者】 市民 市外の住民
【全体概要】 ・シティプロモーションの推進を図り交流人口の増加による地域の活性化を図る。	【特記事項】 平成30年度からしごと創生事業から新規事業へ
【令和元年度 事業内容】 ・シティプロモーションの推進 ・県人会等でのPR活動 ・都内での市産の食材のPR活動 ・市公式キャラクター着ぐるみ作成等 ・市公式キャラクターを活用したPR活動 ・シティガイドブックの作成	【令和 2年度 事業内容】 ・シティプロモーションの推進 ・県人会等でのPR活動 ・都内での市産の食材のPR活動 ・市公式キャラクタープロモーションツール作成 ・市公式キャラクターを活用したPR活動 ・シティガイドブックの作成
	【令和 3年度 事業内容】 ・シティプロモーションの推進 ・市公式キャラクターを活用したPR活動 ・SNS等を活用したキャンペーンの実施 ・地場産品を活用した食のプロモーション活動 ・プロモーション動画等の制作

■ 事業費

		R01年度	R02年度	R03年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	一般財源・その他	7,612	6,883	8,136
歳入計(千円)		7,612	6,883	8,136
歳出内訳	節(番号+名称)	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
	08 旅費	134	2	201
	10 需用費	1,044	1,381	1,000
	11 役務費	0	472	245
	12 委託料	6,324	5,023	6,540
	13 使用料及び賃借料	110	6	150
歳出計(千円)(A)		7,612	6,883	8,136
(参考)		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 18.18 予 5.22
職員人工数		1.08	1.08	1.08
職員人件費(B)		8,373	8,405	8,405
総事業費(A)+(B)		15,985	15,288	16,541

■指標

種類	指標名	単位		R01年度	R02年度	R03年度
活動 指標	シティプロモーションの取組	式	目標	14.00	14.00	14.00
	交流イベント等の参加による首都圏へのPR		実績	15.00	30.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	情報交流人口の拡大	人	目標	10,000.00	10,000.00	0.00
	プロモーションキャンペーン等による情報交流		実績	13,000.00	23,000.00	0.00
	情報交流人口の拡大	人	目標	0.00	0.00	500.00
	SNSフォロワー等登録		実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 シティプロモーションによる認知度の向上や交流人口の拡大に寄与している。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 観光PRのみでは補えないプロモーション効果により、地域資源や地域商品の魅力を広く伝えることができる重要な施策である。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市外のみならず目を向けるのではなく、市民に対する情報発信も継続し、参加型のプロモーションを企画していくことが求められる。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 当市のポテンシャルを十分に生かし切れていない現状を打開するための施策であるため、将来的な展望に影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 シティプロモーションは、市の魅力を総合的にPRすることによって相乗効果が期待できるので、庁内体制を強化して市全体としての取り組みが必要である。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。(仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 費用と人員を増加させることにより、その効果が飛躍的に向上できる事業である。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市全体に掛かる施策のため、公平性は確保されている。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	市民に対するシビックプライドの醸成や、リピーター確保のため近隣市町村へのPRも継続して注力していく。また、市公式キャラクターを積極的に活用しながら老若男女にマッチングするプロモーション企画を検討していく。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：貝塚裕行 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 公式キャラクターやSNS（公式LINEなど）を活用し、積極的な市のPRを展開することにより、交流人口の増加を図る。また、市全体のプロモーションをより効果的な取り組みとするために、連携体制の構築など、体制強化を検討する必要がある。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：大久保定夫 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		
担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 市のイメージや知名度を高めることにより、交流人口の増加と活性化が図られることを目指し、本市が持つ様々な魅力を市内外に効果的、戦略的に発信することが必要である。		

事務事業評価シート

計画対象年度	令和 2年度								
事務事業名	観光PR推進事業（政策）						事業類型	広報・啓発	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	なし
			07	01	03	03	政策経費		
総合計画体系	2. 産業の振興で活力あふれるまちづくり						総合計画対象	対象	
	(3) 観光の振興						市民協働	市民の関与	
	1 観光						担当課係等	観光課	
①観光の推進体制とPRの充実						観光担当		自転車・企画推進担当	
事業期間	継続								

現状把握の部 (D0)

【目的】 県観光協会等の各種関係機関との連携により、県外も含め広域的に市の観光を周知させるとともに、市ブランド「湖山の宝」の形成による地域地名度を高める。	【関連事業】 なし	
【期待される効果】 県及び観光関連団体、関係市町村との連携を推進し、県外も含め広域的に当市の観光をPRさせる効果がある。	【対象者】 観光関連団体、来客者	
【全体概要】 県及び県観光協会・JR東日本・水郷筑波国定公園近隣の関係市との連携を促進し、県外も含め広域的に市の観光を周知させるためのPRを行うとともに、新たなソーシャルネットワーク活用により、観光交流人口の拡大を図る。	【特記事項】 なし	
【令和元年度 事業内容】	【令和 2年度 事業内容】	【令和 3年度 事業内容】
<ul style="list-style-type: none"> ・観光PR活動 ・湖山の宝普及促進 ・観光ガイドマップ作成（リニューアル） ・JAF（日本自動車連盟）との連携 ・広域観光団体との連携 ・観光協会HPのリニューアル 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光PR活動 ・湖山の宝普及促進 ・JAF（日本自動車連盟）との連携 ・PR動画（帆引き船）の作成 	観光PR活動、湖山の宝普及促進、観光ガイドマップ作成、JAF（日本自動車連盟）との連携、広域観光団体との連携

■事業費

		R01年度	R02年度	R03年度
財源	国庫支出金	0	45	0
	県支出金	0	0	0
	一般財源・その他	5,686	2,192	1,773
歳入計（千円）		5,686	2,237	1,773
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	08 旅費	14	0	24
	10 需用費	705	299	437
	11 役務費	104	5	4
	12 委託料	4,863	1,933	1,308
歳出計（千円）（A）		5,686	2,237	1,773
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 -20.7 予 -41.3
職員人工数		0.55	0.55	0.55
職員人件費（B）		4,264	4,281	4,281
総事業費（A）＋（B）		9,950	6,518	6,054

■指標

種類	指標名	単位		R01年度	R02年度	R03年度
活動 指標	観光PR回数	回	目標	10.00	10.00	10.00
	県内外で観光PRを行った回数		実績	13.00	4.00	0.00
	観光PRパンフレット配布枚数	枚	目標	10,000.00	10,000.00	10,000.00
	観光PRパンフレット配布枚数		実績	84,000.00	64,354.00	0.00
成果 指標	市観光協会のホームページ閲覧数	件	目標	200,000.00	200,000.00	200,000.00
	市観光協会のホームページ閲覧者数		実績	278,883.00	324,042.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 関係機関などとの広域連携により、広く本市の観光をPRするとともに、ソーシャルネットワークサービス等を活用し、国内外からの観光交流の拡大を図ることは政策体系そのものと思われる。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 観光関連事業者等と連携を図り観光事業を展開していくことは、行政が積極的に行うべきものと思われる。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 観光関連事業者等と連携し、地域の活性化のためには継続的に観光PRを推進していく必要があると思われる。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 廃止・休止した場合には交流人口等が減少し、地域の活力が損なわれることが懸念される。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 観光関連事業者等と多様・多角的な連携を図っていくことで観光振興が図られると思われる。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。(仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 アフターコロナを見据え、よりよい観光環境づくりの準備に努める必要がある。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市内外の不特定多数者への事業であり、利用にあたって制限はないことから公平・公正は保たれている。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	観光PRの方法・内容等は多様であることから、常に時宜に応じた方策を検討していただくことが必要と思われる。
	1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：貝塚裕行 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 提供する観光情報の更新や映像の充実など、積極的なPRを推進する。また、観光アプリ登録者数の増加に努め、有効活用を図る。	
	2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：大久保定夫 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 湖山の宝など特産品の振興や観光客の誘客促進など、地域経済の活性化につながるよう、様々な情報発信ツールを活用した取り組みが必要である。	

事務事業評価シート

計画対象年度	令和 2年度								
事務事業名	観光交流推進事業（政策）						事業類型	イベント・行事・各種講座教室等	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	なし
			07	01	03	07	政策経費		
総合計画体系	2. 産業の振興で活力あふれるまちづくり						総合計画対象	対象	
	(3) 観光の振興						市民協働	行政の関与	
	1 観光						担当課係等	観光課	
②観光資源の活用						観光担当			
事業期間	継続								

現状把握の部 (D0)

【目的】 観光協会が実施する諸事業を補助することにより、市の観光情報の提供や知名度を高めることを目指す。また、毎年実施される、かすみがうら祭・あゆみ祭り・帆引き船フェスタを市民の交流とふるさと意識の高揚の場とする。	【関連事業】 なし	
【期待される効果】 観光協会が主体となって県内外へ当市の観光及び特産品をPRすることで市の認知度が深まり、交流人口の増加が図れるとともに地域活性化に寄与できる。また、祭やイベントを開催することで交流人口の増加やふるさと意識の高揚が図られる。	【対象者】 来客者	
【全体概要】 帆引き船の操業や各種イベント（かすみがうら祭・あゆみ祭り・帆引きフェスタ）を開催し、文化団体の発表や地場産品等の展示販売を行うことにより、地域文化の創出と産業の振興を図る。	【特記事項】 観光案内等件費（果樹観光の予約、観光帆引き船予約等）、帆引き船フェスタでの帆引き展示を検討	
【令和元年度 事業内容】	【令和 2年度 事業内容】	【令和 3年度 事業内容】
<ul style="list-style-type: none"> ・観光協会補助金 ・かすみがうら祭実行委員会補助金 ・果樹観光協会補助金 ・あゆみ祭り補助金 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光協会補助金 ・かすみがうら祭実行委員会補助金 ・果樹観光協会補助金 ・あゆみ祭り補助金 	<ul style="list-style-type: none"> 帆引き船フェスタ会場設営、観光協会補助金、かすみがうら祭実行委員会補助金、果樹観光協会補助金、あゆみ祭り補助金

■ 事業費

		R01年度	R02年度	R03年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	一般財源・その他	23,857	7,264	23,473
歳入計（千円）		23,857	7,264	23,473
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	18 負担金、補助及び交付金	23,857	7,264	23,473
歳出計（千円）（A）		23,857	7,264	23,473
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 223.1 予 -34.4
職員人工数		1.35	1.35	1.35
職員人件費（B）		10,466	10,506	10,506
総事業費（A）＋（B）		34,323	17,770	33,979

■指標

種類	指標名	単位		R01年度	R02年度	R03年度
活動 指標	観光イベントの開催	回	目標	25.00	12.00	12.00
	観光の周知拡大と市内の魅力を伝えるためのイベントを開催		実績	24.00	18.00	0.00
	イベント周知対象者	人	目標	400,000.00	500,000.00	500,000.00
	広報誌、チラシ、新聞などでイベントを周知した人数		実績	760,700.00	47,100.00	0.00
成果 指標	交流人口	人	目標	80,000.00	90,000.00	100,000.00
	かすみがうら祭、あゆみ祭り、帆引き船フェスタのイベント開催時の来場者数		実績	62,000.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 果樹園や帆引き船などの観光資源や観光拠点を活用し、地域産業の振興を図り、魅力ある観光地づくりを目指すことや体験型観光、全国からの参加者を促し地域の活性化を図ることは市の政策体系そのものである。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 観光関連事業者等と連携を図り、交流促進することは行政が積極的に行うべきものと思われる。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 コロナ禍にあって事業の方向性を模索していく必要がある。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 廃止・休止した場合には交流人口等が減少し、地域の活力が損なわれることが懸念される。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 広く類似事業等と連携を図ることで一層の成果が期待できる。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。(仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 コロナ禍にあって事業展開の方向性を検討・模索し、継続的に費用対効果を高める努力が必要と思われる。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市内外の不特定多数者への事業であり、利用にあたって制限はないことから公平・公正は保たれている。

今後の改善方策や方向性

改善 方策・ 方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	新型コロナウイルス感染症の感染状況を見据え、今後の事業の検討・新たな模索等を行い、観光資源の活用を図っていく必要がある。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：貝塚裕行 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 新型コロナウイルス感染症対策の観点から、従来の不特定多数が1か所または1日に集中するようなイベントを見直し、分散化を図るなど感染症対策を講じた新たなイベント展開を検討することが必要である。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：大久保定夫 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 観光協会が主体となり、本市の観光事業の推進と観光資源の活用を図り、観光協会会員や地域経済の更なる発展に波及するような取り組みが必要である。		

事務事業評価シート

計画対象年度	令和 2年度								
事務事業名	雪入ふれあいの里公園等管理運営事業（政策）						事業類型	管理・運営	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	なし
			07	01	03	09	政策経費		
総合計画体系	2. 産業の振興で活力あふれるまちづくり						総合計画対象	対象	
	(3) 観光の振興						市民協働	市民の関与	
	1 観光						担当課係等	観光課	
③観光拠点の整備						観光担当			
事業期間	継続								

現状把握の部 (D0)

【目的】 身近な自然環境の中で昆虫や野鳥観察及び植物とのふれあい、これらの観察を通じて自然への理解を深める。	【関連事業】 なし
【期待される効果】 自然環境の豊かな公園で自然とのふれあいを求める来園者が多く癒しの空間となっている。	【対象者】 来客者
【全体概要】 雪入ネイチャーセンター及び三ツ石森林公園の維持管理を指定管理者に委託することで、事業の実施また当該施設の有効活用を図る。	【特記事項】 なし
【令和元年度 事業内容】 ・指定管理者委託 ・指定管理事業者選定（第3期） ・遊歩道整備	【令和 2年度 事業内容】 ・指定管理者委託
	【令和 3年度 事業内容】 指定管理者委託

■ 事業費

		R01年度	R02年度	R03年度
財源	国庫支出金	0	16,200	0
	県支出金	0	0	0
	一般財源・その他	26,572	43,575	21,337
歳入計（千円）		26,572	59,775	21,337
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	10 需用費	2,219	0	0
	12 委託料	22,273	22,718	21,337
	14 工事請負費	2,080	36,782	0
	17 備品購入費	0	275	0
歳出計（千円）（A）		26,572	59,775	21,337
（参考）		当初予算額	21,203	当初予算額
職員人工数		0.16	0.16	0.16
職員人件費（B）		1,241	1,246	1,246
総事業費（A）＋（B）		27,813	61,021	22,583

■指標

種類	指標名	単位		R01年度	R02年度	R03年度
活動 指標	事業報告書の確認	回	目標	12.00	12.00	12.00
	指定管理者からの月報と四半期報の確認		実績	12.00	12.00	0.00
	施設のモニタリング調査	回	目標	24.00	24.00	24.00
	協定書に定められた水準にあるか立入調査及び指導を実施する。		実績	24.00	24.00	0.00
成果 指標	公園に関する苦情件数	件	目標	0.00	0.00	0.00
	苦情件数		実績	0.00	0.00	0.00
	講座受講者数	人	目標	300.00	300.00	300.00
	しぜん教室の受講者数（雪入ふれあいの里公園指定管理者：年報）		実績	273.00	99.00	0.00

評価の部（SEE）

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 自然環境の豊かな雪入ふれあいの里公園及び三ツ石森林公園は自然とのふれあいを求める来園者呼び込み、観光の振興の拠点となり重要な役割を担っている。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 当該施設の目的を効果的に達成するため、指定管理者制度を利用しており事業実施は妥当と思われる。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 三ツ石森林公園では従来存在していた遊具等は老朽化・撤去してしまったため、現在目玉となるようなものが存在しない。ニーズに沿った整備を行っていくことで成果の向上が期待できる。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 ハイキング・自然観察等のニーズがあることから廃止・休止した場合には拠点が荒廃してしまうことが懸念される。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 筑波山地域ジオパークとしての連携を図っていくことで一層の成果が期待できる。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。（仕様や工法の適正化、市民の協力など）	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 指定管理者制度を十分に活用しており事業費・人件費削減の余地はない。老朽化が激しく適正に修繕費を計上することで、計画的な修繕も可能になると思われる。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市民共有の財産である当該施設の無料利用は公平・公正な運営となっている。

今後の改善方策や方向性

改善 方策・ 方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	雪入ふれあいの里公園の計画的修繕、三ツ石森林公園の方法性を持った整備が必要と思われる。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：貝塚裕行 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 施設の有効活用を図るためには、老朽化対策が必要であるとともに、整備にあたっては、ニーズを十分に把握したうえで、補助金等を活用し計画的な整備を進めていく。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者： <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持） 担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 指定管理者の企画・アイデアを生かし、多様化するニーズに応え、また、魅力的な自主事業やイベントの充実など利用者満足度の向上につなげられたい。		

事務事業評価シート

計画対象年度	令和 2年度							
事務事業名	交流センター管理運営事業（政策）						事業類型	業務委託
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	なし
			07	01	03	11	政策経費	
総合計画体系	7. みんなでつくる連携と協働のまちづくり						総合計画対象	対象
	(3) 産学官連携の推進						市民協働	共催
	1 産学官連携						担当課係等	観光課
②サイクリングプログラムを核とした地域活性化DMO推進事業								観光担当
事業期間	継続							

現状把握の部 (D0)

【目的】 魅力ある農山漁村を創造し、都市と農村の交流及び地域の活性化を目指す。	【関連事業】 まち・ひと・しごと創生事業(政策)、しごと創生事業(政策)	
【期待される効果】 霞ヶ浦を背景に地域資源として親水空間の創造と農水産業振興との両輪によって活性化が図れる。また、交流センターの設置によって、観光の振興を推進するとともに、観光交流施設として、市民及び観光客の交流促進と、農水産物等の地場産品の消費拡大が図れる。	【対象者】 株式会社かすみがうら未来づくりカンパニー	
【全体概要】 地域資源を十分に活用し、都市住民との交流拠点として、農水産物販売施設、湖上レジャー関連施設等を整備することで交流人口を拡大し、観光産業の活性化を図る。	【特記事項】 平成28年10月より指定管理者制度を導入し、株式会社かすみがうら未来づくりカンパニーが施設管理を含め事業を進めている。	
【令和元年度 事業内容】	【令和 2年度 事業内容】	【令和 3年度 事業内容】
<ul style="list-style-type: none"> ・交流センターの指定管理 ・レストラン事業 ・サイクリングプログラム事業 ・マルシェ等販売事業 ・交流事業 ・地域活性化DMO推進事業の展開 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流センター(古民家・棧橋)の指定管理 ・古民家プロモーション事業 ・レストラン事業 ・サイクリングプログラム事業 ・マルシェ等販売事業 ・交流事業 ・地域活性化DMO推進事業の展開 	<ul style="list-style-type: none"> ・古民家江口屋における庭園整備業務 ・交流センター(古民家・棧橋)指定管理 ・地域活性化DMO推進事業の展開 ・サイクリングプログラム事業 ・マルシェ等販売事業 ・交流事業(宿泊体験含む)

■事業費

		R01年度	R02年度	R03年度						
財源	国庫支出金	0	2,514	9,139						
	県支出金	0	0	0						
	一般財源・その他	9,140	27,652	32,727						
歳入計(千円)		9,140	30,166	41,866						
歳出	節(番号+名称)	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)						
	07 報償費	0	0	42						
	10 需用費	0	69	274						
	11 役務費	0	27	27						
	12 委託料	8,624	29,671	27,955						
	14 工事請負費	0	0	13,200						
	17 備品購入費	517	275	330						
	21 補償、補填及び賠償金	0	87	0						
	26 公課費	0	38	38						
内訳										
歳出計(千円)(A)		9,140	30,166	41,866						
(参考)		当初予算額	8,865	当初予算額	28,573	伸び率(%)	決	38.78	予	46.52
職員人工数		0.16	0.16	0.16						
職員人件費(B)		1,241	1,246	1,246						
総事業費(A)+(B)		10,381	31,412	43,112						

■指標

種類	指標名	単位		R01年度	R02年度	R03年度
活動 指標	指定管理者制度の活用 月例報告	回	目標	12.00	12.00	12.00
			実績	12.00	12.00	0.00
	交流センターとの連絡調整 立入り検査、運営状況のヒアリング等	回	目標	24.00	24.00	24.00
			実績	24.00	24.00	0.00
成果 指標	サイクリングによる交流人口の増加 サイクリングプログラム利用者数	人	目標	1,200.00	1,200.00	1,200.00
			実績	1,061.00	1,311.00	0.00
	地域物産の販売額の増加 市交流センターのレストラン・マルシェ等の販売額	千円	目標	41,537.00	28,530.00	28,530.00
			実績	42,731.00	38,663.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 地域資源を活用した観光振興や地場産品の消費拡大など、活力あるまちづくりを目指す活動は、当市の政策に直結するものである。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 株式会社かすみがうら未来づくりカンパニーは、交流センターの管理に留まらず、観光振興や地域商社事業による農水産物のプロデュースなど、まちづくり政策に資するもので妥当である。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 交流センターの付属施設である古民家江口屋や歩崎棧橋を活用した自主事業等によって、観光交流を促すサービスを実施していくことができる。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 地方創生に資する代表的な取り組みとして進めているもので、休廃止は地域活性化事業を停滞させるものとなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 施設の機能や性質に適應する事業者が計画的に事業運営にあたっている。類似する業務が発生した場合は、統廃合や連携も視野に調整可能である。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。(仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 成果向上を目指している時期で、基本的に縮小する事業ではない。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 一般開放する歩崎公園に立地する観光交流施設であり基本的に利用制約はなく、公平・公正は担保されている。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	歩崎地域における主要施設の運営は、一般観光客やサイクリストに加え、霞ヶ浦観光を代表する帆引き船、湖上アクティビティによる誘客に極めて重要な事業である。今後も本市観光事業の主軸として提供サービスを拡充し地域活性化を目指すため、かすみがうら未来づくりカンパニーとの連携を強化する。
1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性(改革・改善策))		記入者: 貝塚裕行
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)		
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 観光の拠点施設である交流センターは、指定管理制度を導入しているため、指定管理者との意見交換や指導により適切な管理運営を図る。また、付帯施設である古民家江口屋、歩崎棧橋を活用した自主事業を展開するなど、来訪者やリピーターの増加につながる取り組みを推進する。		
2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性(改革・改善策))		記入者: 大久保定夫
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)		
担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入) 指定管理者の企画、アイデアを生かし、多様化するニーズに応え、また、魅力的な自主事業やイベントの充実など利用者満足度の向上につなげられたい。		

事務事業評価シート

計画対象年度	令和 2年度								
事務事業名	観光サイクリング事業（政策）						事業類型	イベント・行事・各種講座教室等	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	なし
			07	01	03	13	政策経費		
総合計画体系	2. 産業の振興で活力あふれるまちづくり						総合計画対象	対象	
	(3) 観光の振興						市民協働	市民の関与	
	1 観光						担当課係等	観光課	
②観光資源の活用						自転車・企画推進担当			
事業期間	継続								

現状把握の部 (D0)

【目的】	【関連事業】	
高まるスポーツ参加型イベントのニーズに対応する自動車耐久レースやサイクリングイベントを切り口に、全国のサイクリスト等に当該地域の魅力をアピールして観光交流人口の増大を図る。	なし	
【期待される効果】	【対象者】	
全国から参加者が集まるイベントを展開することで観光や特産品を全国にPRできる。	サイクリスト、アウトドア志向層	
【全体概要】	【特記事項】	
かすみがうらエンデューロやライドハンターズ、ライダーマンキッズで構成するレイクサイドサイクルフェスタを開催し、市の観光や地場産品などの資源をPRする。また、つくば霞ヶ浦りんりんロードを活用した「かすいちキャンペーン」をはじめ、キャンプの魅力と自転車活用をテーマにした「ライドヴィレッジ」の開催のほか、新たなアクティビティコンテンツの導入を検討する。	レイクサイドサイクルフェスタのイベント構成については、COVID-19の感染状況に応じて開催形態を検討する。令和2年6月24日に設立の「かすみがうらアクティビティコミッション」における新たな体験型観光プログラムの導入や、関連して地方スポーツ振興費補助金など国補の活用についても検討する。	
【令和元年度 事業内容】	【令和 2年度 事業内容】	【令和 3年度 事業内容】
<ul style="list-style-type: none"> かすみがうらエンデューロの開催 ライドハンターズの開催 霞ヶ浦まるごとグルメフェスの開催 自転車環境魅力共創事業 	<ul style="list-style-type: none"> かすみがうらエンデューロの開催 ライドハンターズの開催 霞ヶ浦まるごとグルメフェスの開催 自転車環境魅力共創事業 周回コース修繕 	<ul style="list-style-type: none"> レイクサイドサイクルフェスタ開催 かすみがうらエンデューロ ライドハンターズ ライダーマンキッズ など サイクリングキャンペーン ライドヴィレッジ

■事業費

		R01年度	R02年度	R03年度						
財源	国庫支出金	3,511	4,736	7,183						
	県支出金	0	0	0						
	一般財源・その他	9,395	10,812	16,009						
歳入計（千円）		12,906	15,548	23,192						
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）						
	07 報償費	85	201	62						
	08 旅費	326	2	333						
	10 需用費	32	38	331						
	12 委託料	11,479	10,072	16,238						
	13 使用料及び賃借料	0	0	1,188						
	18 負担金、補助及び交付金	985	5,235	5,040						
歳出計（千円）（A）		12,906	15,548	23,192						
（参考）		当初予算額	15,635	当初予算額	21,639	伸び率(%)	決	49.16	予	7.17
職員人工数		1.30	1.30	1.30						
職員人件費（B）		10,078	10,117	10,117						
総事業費（A）＋（B）		22,984	25,665	33,309						

■指標

種類	指標名	単位		R01年度	R02年度	R03年度
活動指標	観光PRパンフレット配布枚数	枚	目標	2,000.00	2,000.00	2,000.00
	大会時における観光PRパンフレット配布枚数		実績	250.00	81.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	参加者人数	人	目標	1,000.00	1,000.00	0.00
	かすみがうらエンデューロレースに参加する人数		実績	0.00	0.00	0.00
	来場者人数	人	目標	8,000.00	8,000.00	0.00
	2日間のイベントに来場する人数		実績	250.00	81.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 ナショナルサイクルルートに指定の「つくば霞ヶ浦りんりんロード」や歩崎公園を活用したイベントは、交流人口を増加させるうえで重要な観光政策となっている。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 この事業を実施することによる、サイクリスト等への地域PRの訴求効果は顕著であり、交流人口の増加や地域製品の消費拡大にもつながっている。
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 コロナ禍に即した新たな運営手法を取り入れるほか、隔年実施によるブランディングやPR強化を図るなど、イベントの強みをさらに引き出すことが求められる。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 「かすみがうらエンデューロ」は、つくば霞ヶ浦りんりんロード沿線最大の自転車レースであり、公道を走行する希少な大会として認知されている。物販イベントも併催しているため地域事業者にとっても影響のある事業になっており、事業廃止には大きなリスクがともなう。
効率性評価	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 期間型のサイクリングキャンペーンや、ミニマムなサイクリングツーリズムなど、コロナ禍に即した企画をコンスタントに開催していくことで、エンデューロのような集客イベントは隔年開催も検討できる。
	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。(仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 スポンサーの獲得などで事業費の負担を軽減することは可能である。人件費については、職員協力依頼などにより削減に努めている。
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 サイクリスト以外の一般来場も受け入れるためのイベント構成となっているため、公平・公正は担保されている。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	自転車環境魅力共創事業として実施するサイクリングサービスや、日常的に楽しめるアクティビティコンテンツを充実させていく。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：貝塚裕行 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） コロナ禍における取り組みとして、イベントの常設型、期間型のプログラムを強化する。また、アクティビティコミッションについては、サイクリングのほか、水辺のアクティビティの取り組みを進める。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：大久保定夫 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		
担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） サイクリング関連事業の発展が市経済に波及するよう、関係部署、関係機関と連携を深め取り組むことが必要である。		

事務事業評価シート

計画対象年度	令和 2年度								
事務事業名	歩崎公園管理運営事業 (政策)						事業類型	管理・運営	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	なし
			07	01	04	04	政策経費		
総合計画体系	2. 産業の振興で活力あふれるまちづくり						総合計画対象	対象	
	(3) 観光の振興						市民協働	行政の関与	
	1 観光						担当課係等	観光課	
③観光拠点の整備						観光担当			
事業期間	継続								

現状把握の部 (D0)

【目的】 市内の家族連れをはじめ、近隣市民の憩いの場を提供し、誘客に努めるため、観光との連携により観光産業の振興を図る。	【関連事業】 なし
【期待される効果】 市内の家族連れをはじめとした近隣住民、首都圏等からの観光客に憩いの場を提供し、多様な楽しみ方を満喫してもらうことでリピート率を向上させ、交流人口の増加と地域経済の活性化、地域の活力増強に期待できる。	【対象者】 来客者
【全体概要】 公園(歩崎園地・森林公園・あゆみ庵・民家園・改善センター・艇庫)の清掃作業業者委託・修繕・光熱水費及び土地借上料の計上。	【特記事項】 なし
【令和元年度 事業内容】 ・ 棧橋設置工事	【令和 2年度 事業内容】 ・ 歩崎公園園地整備設計・工事 ・ 船舶昇降設備撤去 ・ 樹木伐採
	【令和 3年度 事業内容】 ・ 遊具設置等 ・ 伐採、抜根等

■ 事業費

		R01年度	R02年度	R03年度
財源	国庫支出金	23,001	10,569	0
	県支出金	0	0	0
	一般財源・その他	96,055	12,892	0
歳入計 (千円)		119,056	23,461	0
歳出内訳	節 (番号 + 名称)	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)
	08 旅費	130	0	0
	12 委託料	6,066	3,346	0
	14 工事請負費	112,860	20,115	0
歳出計 (千円) (A)	119,056	23,461	0	
(参考)	当初予算額	127,972	当初予算額	23,893
職員人工数	0.40	0.40	伸び率(%)	決
職員人件費 (B)	3,101	3,113	皆減	予
総事業費 (A) + (B)	122,157	26,574	皆減	0.21
				1,635

■指標

種類	指標名	単位		R01年度	R02年度	R03年度
活動指標	工事打合せ等	回	目標	30.00	30.00	0.00
	請負業者、関係機関との打ち合わせ（R1：歩崎公園棧橋設置工事、R2：歩崎公園イベント広場整備工事）		実績	30.00	15.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	工事進捗率	%	目標	100.00	100.00	0.00
	歩崎公園棧橋設置に係る工事の進捗状況（R1：歩崎公園棧橋設置工事、R2：歩崎公園イベント広場整備工事）		実績	100.00	100.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部（SEE）

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 観光振興を図るための重要な役割を果たしている歩崎公園整備は拠点整備に努める政策体系に結びついている。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 観光振興の拠点として位置づけられる歩崎公園の整備は市の役割である。
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 すでに再編交付金（防衛省）及び自然環境整備交付金（環境省）等交付金を活用しての整備であり、成果向上の余地はない。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 継続的な観光拠点の充実を図らない場合には入込観光客数の減少が懸念される。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 雪入ふれあいの里公園の整備とともに歩崎公園の整備は観光拠点整備の中心である。
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。（仕様や工法の適正化、市民の協力など）	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 再編交付金（防衛省）及び自然環境整備交付金（環境省）等交付金を活用しての整備であり、削減余地はない。
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市民共有の財産である歩崎公園の整備は公平・公正になっている。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	入込観光客数の維持・向上には継続的な整備が不可欠と思われる。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：貝塚裕行 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 歩崎公園は観光の拠点として、各施設が連携し一体的な活用が図られることが有効であるため、老朽化している施設の利活用の検討が必要である。また、歩崎地域観光振興アクションプランに基づき、宿泊機能の充実について検討を進める。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：大久保定夫 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 歩崎地域観光振興アクションプランをベースとし、歩崎公園、交流センター、古民家、水族館、棧橋、改善センター、森林公園などを関連活用する総合的な整備計画の検討が必要である。		

事務事業評価シート

計画対象年度	令和 2年度								
事務事業名	水族館管理運営事業（政策）						事業類型	管理・運営	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	なし
			07	01	04	06	政策経費		
総合計画体系	2. 産業の振興で活力あふれるまちづくり						総合計画対象	対象	
	(3) 観光の振興						市民協働	行政の関与	
	1 観光						担当課係等	観光課	
③観光拠点の整備						観光担当			
事業期間	継続								

現状把握の部 (D0)

【目的】 観光レクリエーション基地あるいは、広域観光ルートの拠点として、霞ヶ浦を始め、淡水に生息する珍しい魚類等を展示・飼育することにより、自然保護と動物福祉に対する理解を深めると共に、学術及び教育・文化の発展に寄与する。	【関連事業】 なし
【期待される効果】 霞ヶ浦の淡水に生息する珍しい魚類等を飼育・展示することで自然保護と動物に対する理解を深めるとともに、教育・文化の発展につながっている。	【対象者】 来客者
【全体概要】 霞ヶ浦の魚類や世界の珍しい生き物を飼育展示することにより、自然保護と動物福祉に対する理解を深めるとともに、学術及び教育・文化の発展に寄与する。	【特記事項】 平成29年度指定管理者の切り替え（第3期）
【令和元年度 事業内容】 ・指定管理者委託 ・水族館改修工事設計業務委託 ・水族館改修工事	【令和2年度 事業内容】 指定管理者委託
	【令和3年度 事業内容】 指定管理者委託

■事業費

		R01年度	R02年度	R03年度
財源	国庫支出金	13,402	0	0
	県支出金	0	0	0
	一般財源・その他	58,886	8,892	8,245
歳入計（千円）		72,288	8,892	8,245
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	10 需用費	213	0	0
	12 委託料	12,177	8,198	8,245
	14 工事請負費	59,169	0	0
	17 備品購入費	0	275	0
	21 補償、補填及び賠償金	729	419	0
歳出計（千円）（A）		72,288	8,892	8,245
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 -7.27 予 0.00
職員人工数		0.26	0.26	0.26
職員人件費（B）		2,016	2,024	2,024
総事業費（A）＋（B）		74,304	10,916	10,269

■指標

種類	指標名	単位		R01年度	R02年度	R03年度
活動 指標	事業報告書の確認	回	目標	12.00	12.00	12.00
	指定管理者からの月報及び四半期報告の確認		実績	12.00	12.00	0.00
	施設のモニタリング調査	件	目標	12.00	12.00	12.00
	協定書に定められた水準にあるか、立入調査及び指導		実績	12.00	12.00	0.00
成果 指標	水族館来館者数	人	目標	46,000.00	47,000.00	48,000.00
	水族館への来館者数		実績	34,659.00	34,027.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 観光振興を図るための重要な役割を果たしている歩崎公園の一角を担う水族館は観光拠点整備に努める政策体系に結びついている。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 観光振興の拠点として位置づけられる歩崎公園の整備は市の役割である。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 当該施設の目的を効果的に達成するため、指定管理者制度を利用しており事業実施は妥当と思われる。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 歩崎観光拠点の一角を担っており、入込観光客数の減少が懸念される。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 水族館事業は本市特徴的な観光施設であり、統廃合・連携ができない。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。(仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 当該施設の目的を効果的に達成するため、指定管理者制度を利用しており事業費及び人件費ともに削減の余地がないと思われる。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 入館者に対して入館料を徴収しており、受益と負担の適正化が図られていると思われる。

今後の改善方策や方向性

改善 方策・ 方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	施設の老朽箇所も目立ち始めていることから適正な修繕費を計上することで計画的修繕が容易になると思われる。また、観光施設魅力を発信し続ける努力を継続することで入込観光客数の維持・向上につながると思われる。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：貝塚裕行 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 施設の管理運営状況の調査、指定管理者との協議を行い、積極的に自主事業を展開するよう指導を行うとともに、歩崎公園内の各施設、イベントとの連携に努め、入館者の増加を図る。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：大久保定夫 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		
担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 指定管理者の企画、アイデアを生かし、多様化するニーズに応え、また、魅力的な自主事業やイベントの充実など利用者満足度の向上につなげられたい。		

計画対象年度	令和 2年度		事務事業評価シート					事業類型	管理・運営		
事務事業名	あゆみ庵管理運営事業（政策）							根拠法令	なし		
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	総合計画対象	対象		
			07	01	04	08	政策経費				
総合計画体系	2. 産業の振興で活力あふれるまちづくり							市民協働	市民の関与		
	(3) 観光の振興							担当課係等	観光課		
	1 観光								観光担当		
事業期間	継続										

現状把握の部 (D0)

【目的】	【関連事業】	
市民や観光客の福祉増進、教養の向上及び余暇の充実に資するため、一息つく憩いの場を提供し、水族館や資料館などへの周遊性を高める。	なし	
【期待される効果】	【対象者】	
貴重な茶室専用の施設として、市民及び観光客の余暇の充実に資するため重要な役割を持つ。	来客者	
【全体概要】	【特記事項】	
あゆみ庵を有効に活用するため、維持管理費と運営委託の費用を計上する。	なし	
【令和元年度 事業内容】	【令和 2年度 事業内容】	【令和 3年度 事業内容】
・あゆみ庵運営事業	あゆみ庵運営事業	あゆみ庵運営事業

■ 事業費

		R01年度	R02年度	R03年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	一般財源・その他	300	300	300
歳入計（千円）		300	300	300
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	12 委託料	300	300	300
歳出計（千円）（A）		300	300	300
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 0.00 予 0.00
職員人工数		0.08	0.08	0.08
職員人件費（B）		621	623	623
総事業費（A）＋（B）		921	923	923

■指標

種類	指標名	単位		R01年度	R02年度	R03年度
活動 指標	あゆみ庵の見回り回数	回	目標	50.00	50.00	50.00
	職員が実施する年間の見回り回数		実績	50.00	50.00	0.00
	あゆみ庵借席件数	件	目標	20.00	20.00	20.00
	一般の人があゆみ庵を利用（借用）した件数		実績	14.00	8.00	0.00
成果 指標	あゆみ庵に関する苦情件数	件	目標	0.00	0.00	0.00
	苦情件数		実績	0.00	0.00	0.00
	あゆみ庵来庵者	人	目標	500.00	500.00	600.00
	あゆみ庵来庵者数		実績	386.00	196.00	0.00

評価の部（SEE）

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 観光振興を図るための重要な役割を果たしている歩崎公園の一角を担うあゆみ庵の整備は観光拠点整備に努める政策体系に結びついている。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市の観光拠点施設であることから当該施設整備は市の役割である。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 あゆみ庵運営委員会へ委託する本事業の運営方法は費用対効果を考慮した場合経済的方策のひとつと思われる。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 日常的施設管理及び土日等抹茶提供ができなくなり、施設の有効活用が図れなくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 あゆみ庵を管理するための運営委員会であり、統廃合・連携等は期待できない。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。（仕様や工法の適正化、市民の協力など）	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 日常的管理及び土日等の抹茶提供を他の方法によっては現状以上の経費等が想定される。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 施設の管理を委託しているあゆみ庵の事業は抹茶提供の際には実費相当分を徴収して運営しており受益と負担の適正化が図られている。

今後の改善方策や方向性

改善 方策・ 方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	あゆみ庵運営委員会があゆみ庵の管理をするための組織であり、事業の継続のためには持続性のある組織を目指す必要がある。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：貝塚裕行 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） HPやSNSを活用し、施設の誘致に努めると共に、古民家江口屋など周辺施設との連携を強化することにより、利用者の増加を図る。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：大久保定夫 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		
担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 貴重な茶室専用施設として、観光客の憩いの場としての利用に加え、市民の教養の向上、余暇の充実のため、茶道、華道等の文化活動の利用も重要と考える。		